



一般会計補正予算を修正可決しました

議案名

令和4年度笠岡市
一般会計補正予算（第5号）

Q なんの予算を修正したの？

A 次の事業の予算（総額7,932万円）を削除しました。

事業名	削除した予算額
①物価高騰対策生活支援金給付事業 （物価高騰の影響を受ける市民生活を支援するため、マイナンバーカードを取得し、公金受取口座を登録済みの者に対し、生活支援金（3,000円）を給付する）	6,960万円
②地域おこし協力隊事業 （地域おこし協力隊員の採用増及びインターン生の新規採用による追加）	972万円

Q なぜ修正したの？

A 主な執行部からの説明と、委員の意見は次のとおりです。

①物価高騰対策生活支援金給付事業

執行部の説明

本事業は、物価高騰が食料品など身近な商品価格にも影響を及ぼし、市民生活を直撃していることから、そうした市民生活を早急に支援するため、生活支援金として現金3千円を申請不要のプッシュ型で、マイナンバーカードに紐づけられた公金受取口座振込により支給しようとするものである。支給の方法としては様々な方法が考えられるが、最も迅速で市民の皆様へ負担をかけることなく、また職員の負担も抑え、ミスが発生しにくい方法として、マイナンバーカードに紐づけられた公金受取口座振込により支給しようとするものである。

委員の意見

- ◇ 物価高騰の影響を受けているのは皆であり、支給対象者をマイナンバーカードを取得し、公金受取口座の紐づけをされた方に限定するのはいかがなものか。
- ◇ 子育て世帯など、物価高騰により本当に困っている人のために使うべきではないか。
- ◇ マイナンバーカードの取得により不平等が発生するのはおかしいのではないか。

②地域おこし協力隊事業

執行部の説明

本事業の補正要因は、地域おこし協力隊員の採用増及びインターン生の採用に伴う報償費・活動補助金等の増額である。今年度からは国の地域おこし協力隊推進要綱に沿って、地域おこし協力隊員の採用を行うとともに、新たにインターン生の採用を行っている。

委員の意見

- ◇ 補正予算の意味合いについては、これまで何回も話をさせていただいたが、理解されているのか。補正予算での対応が急に必要というような話があるのなら、それなりの説明は事前にいただきたい。
- ◇ 補正予算の成立前でありながら、インターン生の希望者と連絡を取り、採用決定の打診を行うなど、事業に対して計画性がないのではないか。補正予算がついていない段階で先走るのは、行政として計画性のないやり方であり、おかしいのではないか。